

学校支援を積極的に進める

## 学校の教育活動を支えるPTA活動

犬山市立犬山中学校PTA

### 1 はじめに

本校は、犬山市の北部に位置し、全校生徒 698 名、21 学級で、開校 75 年目（令和 3 年度現在）を迎える伝統のある学校である。「優しく、たくましく、心豊かな犬中生」を合い言葉に、「響き合う歌声、心を込めた清掃、さわやかなあいさつ」を心がけながら、

- 思索し、想像する生徒
  - 誠実で、ねばり強い生徒
  - 健康で、明るい生徒
- の育成を目指している。

また、父母や祖父母も本校の卒業生が多いため、教育活動への理解・協力が得やすい地域である。



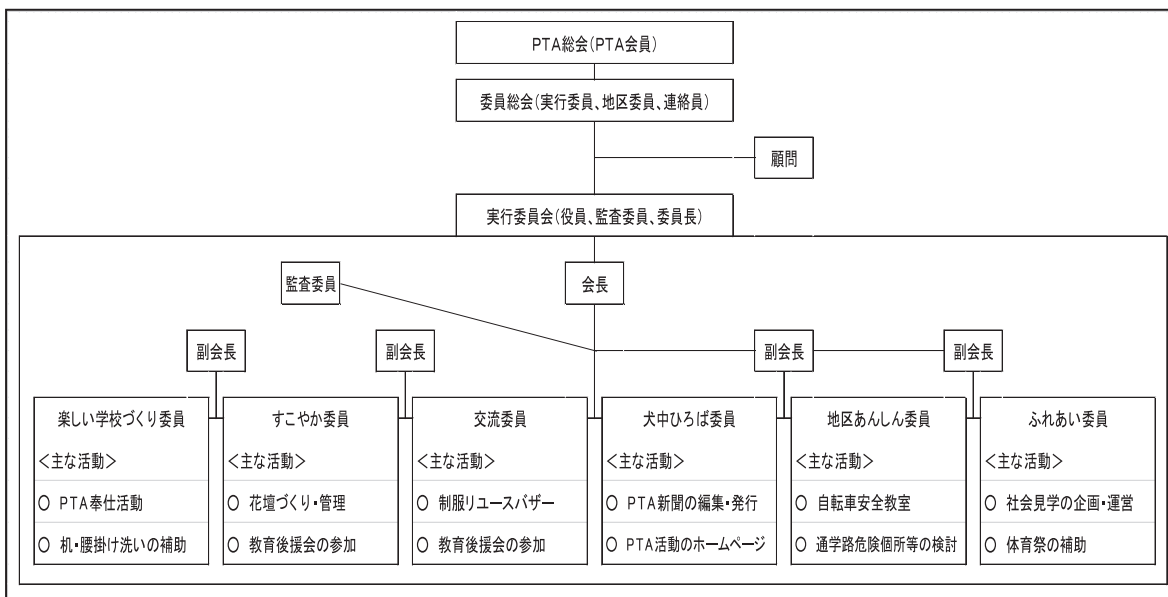
【犬山市立犬山中学校】

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

本校PTAは、各種行事等へ積極的に関わり多くの教育活動を支えてきた。本年度も「～この縁を大切に～」をPTAスローガンとして、学校行事等への協力だけでなく会員相互の研修会を充実させる予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応による影響で多くの活動を制限することとなった。そこで、今まで取り組んできた実践活動をまとめていくことにした。

#### (2) PTAの組織と主な活動



### 3 実践活動の概要

#### (1) 学校生活に関わる支援

##### ① 自転車安全教室

地区あんしん委員会が中心となり、1年生と1年生の保護者を対象に自転車安全教室を5月に開催している。毎年、犬山警察署や県警あゆみの方を講師に招聘し、「自転車の交通ルールやマナーについて」「自転車制度の改正について」等のテーマで自転車に乗る際の道路交通法を学んでいる。



【自転車安全教室】

中学生になり小学生と比べ行動範囲も広がり、自転車に乗る機会も増えてくる。事故の被害者にならないようにするだけでなく、加害者にならないためにはどのような乗り方を心がけるべきかを考える大切な時間となっている。

##### ② 給食試食会

給食の様子や献立の仕上がり等を知っていただく機会として、年2回給食試食会を開催している。会食の際に栄養教諭が献立の説明をすることで、栄養バランスや彩り等に多くの工夫が施されていることが分かり感心している参加者もいる。また、事後アンケートでは、「前より給食メニューを気にするようになった」



【給食試食会】

「子どもと家で給食の話を毎日するようになった」など、食に関して考える貴重な時間となっている。

##### ③ 制服リユースバザー

交流委員会が中心となり、年2回（7月・12月）開催している。サイズが合わなくなったり使用しなくなったりした制服や体操服、体育館シューズ等を随時受け付け、リユースバザーで安価で販売している。丁寧に使用され、いい状態のものが数多く提供されるため、保護者会を終えた方が立ち寄り購入していく場となっている。後輩に自分の学用品を有効に活用してほしいという願いからこのような活動が始まった。リユースバザーで得た収益金は、学校の環境整備費等に充てられ教育活動に役立てられている。



【制服リユースバザー】

## (2) 学校行事に関わる支援

### ① 資源回収

資源回収という実践活動を通して、限りある資源を大切にしようという気持ちを高めるとともに、地域の方々の支援や温かい配慮に触れ、地域の一員としての自覚を強めることを目的に取り組んでいる。生徒と職員だけでは回収が難しいため、PTAが支援している。集荷場所に地区委員と連絡員が待機し、生徒が集めてきた資源を職員と分別する。分別した資源を生徒、職員、保護者が協力し合い、回収車両に積み込む。協力し合う喜びや地域の方の励ましに笑顔がこぼれる生徒の姿が毎年見られる。



【資源回収】

### ② 体育祭

PTAは主に来賓対応や巡回を行っている。実行委員が来賓案内や受付をし、プログラムや礼状等を配付している。また、来賓席や敬老席の接待も実行委員会が中心となり対応しているため、職員は生徒の指導に専念できる。他にも地区あんしん委員が敷地内を巡回し、立入禁止区域や応援席の様子を観察している。こうしたPTAの支えが体育祭という大きな行事を円滑に進める要因となっている。



【体育祭】

### ③ 机・腰掛け洗い

「感謝する純粋な気持ちを込めて、木曾川で机を洗おう」と1949年に始まった伝統行事である。平成20年頃までは、学校行事として生徒と職員のみが参加していた。現在ではPTA役員、委員、OBの方々も準備や運営に携わっている。

毎年、楽しい学校づくり委員会が中心となり、温かいスープの炊き出しや冷えた足を温める足湯等を準備している。

3年生は、自然の偉大さや雄大さを肌で感じながら、犬中生として仲間と過ごした3年間の自らの成長を振り返る。さらには、卒業を前に進むこれからの道への決意や覚悟を固める。生徒一人一人がそれぞれの想いを抱きながら、犬中生としての自己の存在を再認識するこの大切な行事を支援することで、PTAにとっても1年間の活動を振り返る大切な時間となっている。



【机・腰掛け洗い】

### (3) その他の支援

#### ① 花壇整備

すこやか委員会が中心となり、年2回（6月・11月）PTA花壇の整備を毎年行っている。1日目は土おこしをした後、石灰や肥料をまき、土作りを中心に行っている。2日目はデザインを参考にしながら、数種類の苗を植え付けている。夏休み等の長期休業中もすこやか委員で当番を割り振り、除草等の作業を献身的に組んでいる。



【花壇整備】

正門を通る際、必ず目にする位置にPTA花壇が設置されており、咲き誇る花の姿を目にした生徒や来校者から、「どんどん生長していく花を見て元気がもらえる」「心が癒やされる」などの声が聞こえてくる。美しい環境を保つだけでなく、生徒の豊かな感性を育み、自然に対して興味・関心をもつ一因となっている。

#### ② 奉仕活動

楽しい学校づくり委員会が中心となり、年1回（10月頃）奉仕活動を行っている。教室や技術室にある不要物を搬出し、分別がしやすいように解体を行ったり、階段アートがより美しく見えるように踊り場のペンキを塗ったりするなど、なかなか職員が着手できない作業を毎年行っている。委員が綿密な計画を立て、効率よく作業を行うことで、教育活動が作業によって妨げられることはなく、職員の負担も軽減されている。学校の環境整備の役割の一翼を担う大切な活動になっている。



【PTA奉仕作業】

## 4 おわりに

この研究を通して、これまで実施してきたPTA活動が生徒の健やかな成長と豊かな感性を育む教育活動を多岐にわたり支えていることを再認識できた。残念ながら今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応により、従来のPTA活動を行うことが困難な状況であった。安易に活動を中止するのではなく、新しい生活様式に合わせ、「どのような方法で何ができるか」を考え、新たな形での活動を模索していく必要がある。

今後も学校、家庭、地域のつながりをより一層深め、多くの方との縁を大切にしながら、教育活動を支援していくPTA活動の充実・発展を図ってきたい。